

理事会報告

★ Information

2月定例理事会

平成12年2月8日

西多摩医師会館

【1】 報告事項**(I) 平成12年新年賀詞交歓会収支報告**

— 了承 —

(II) 各部報告

(担当部長)

(学術部) 3月18日 パネルディスカッション「虚血性心疾患」を青梅総合病院講堂にて行う。

(保険部) 3月中に点数改正講習会を予定。

(広報部) 健やか Tokyo 2月号に西多摩医師会の広告を掲載した。

(III) 各地区会よりの報告

(各地区長)

(青梅) 2月14日、役員会。

(福生) 1月末新年会。3月に役員選出の予定。

(羽村) 1月26日、新年会を兼ねたワインの会を行った。
公立福生病院の件など、行政と打合せ。

(あきる野) 2月14日、三師会を開催。

阿伎留病院建設検討協議会の委員に医師会より小机先生・大塚先生を選出。
2015年に完成、400床の予定。

(瑞穂) 特になし。

(日の出) 2月3日、地区会開催。役員は現行の通り。

(IV) その他

なし。

【2】 報告承認事項**(I) 入会会員について**

— 承認 —

(II) 平成12年度あきる野市立保育園医の推薦について

— 承認 —

東秋留保育園	斎藤 信幸 先生	神明保育園	瀬戸岡 俊一郎 先生
西秋留保育園	葉山 侃 先生	すぎの子保育園	小机 敏明 先生
屋城保育園	奥野 仁 先生		

(Ⅲ) 平成12年度羽村市公立学校医の推薦について — 承認 —

	《内科医》	《眼科医》	《耳鼻咽喉科医》
羽村東小学校	東 吉男 先生	真鍋 勉 先生	山田 登 先生
羽村西小学校	川口 卓治 先生	真鍋 勉 先生	山田 登 先生
富士見小学校	堤 次雄 先生	山下 和雄 先生	山田 登 先生
栄 小学校	佐藤タミエ 先生	松田 千絵 先生	山田 登 先生
松 林小学校	塩澤 三朗 先生	山下 和雄 先生	山田 登 先生
小作台小学校	松田三樹雄 先生	真鍋 勉 先生	込田 茂夫 先生
武蔵野小学校	滝浦 復平 先生	山下 和雄 先生	山田 登 先生
羽村第一中学校	奥村 充 先生	真鍋 勉 先生	込田 茂夫 先生
羽村第二中学校	寺田 穰 先生	山下 和雄 先生	込田 茂夫 先生
羽村第三中学校	村山 正昭 先生	山下 和雄 先生	込田 茂夫 先生

(Ⅳ) 平成12年度奥多摩町立学校医の推薦について — 承認 —

氷 川小学校	川 辺 隆 道 先生	氷 川中学校	川 辺 隆 道 先生
古 里小学校	皆 川 俊 一 先生	古 里中学校	皆 川 俊 一 先生
小河内小学校	川 辺 昌 道 先生	小河内中学校	川 辺 昌 道 先生

(Ⅴ) 平成12年度日の出町立小中学校医の推薦及び耳鼻咽喉科眼科検診医の承諾について

— 承認 —

大久野小学校	進 藤 晃 先生	大久野中学校	蓼 沼 翼 先生
平 井小学校	湯 川 文 朗 先生	平 井中学校	神 尾 重 則 先生
本 宿小学校	篠 原 秀 隆 先生		

耳鼻咽喉科………清 水 佐和道 先生 (清水耳鼻咽喉科クリニック)

眼 科………野 口 清 美 先生 (野口眼科医院)

(Ⅵ) 平成12年度東京都立羽村養護学校学校医の推薦について — 承認 —

新 井 敏 彦 先生 (新井クリニック)

【3】 協議事項

(Ⅰ) 平成12年度事業計画案について

- 病院部の医療機能連携推進事業に協力する件
 - 公衆衛生の保健所関連事業を一部削除する件
 - 総務部の多摩地区医師会懇親会を主催する件
- 以上を盛り込んで作成する。

(Ⅱ) 平成11年度第二回定時総会議題について

— 承認 —

(Ⅲ) 社団法人被害者支援都民センター（仮称）設立に対する協力依頼について
賛助会員協力依頼 — 承認 —

(Ⅳ) その他

徳洲会病院の進出について、ポスターの件（福生、羽村、瑞穂地区）
接骨師会の活動について

2月定例理事会

平成12年2月22日

西多摩医師会館

【1】 報告事項

(Ⅰ) 都医地区医師会長協議会報告

(宮川会長)

1. 都医からの伝達

(1) 東京都医師会「母体保護法指定医師の指定基準」並びに「東京都医師会母体保護法指定基準細則」の改正について

4月1日よりこの指定基準が改正となり申請用紙（様式1～14）も新しくなる。

(2) 医事紛争対策室からのお願いについて

医事紛争に関して患者側からの請求に対しては安易に回答することなく、慎重な対応が必要である。勝手に患者側に約束した事案については日医賠償保険の適用はなくなる。

(3) 生活習慣改善指導推薦事業について

この事業は、各市町村委託事業であり、基本健康診査を受診した者のうち、糖尿病、高血圧、高脂血症、喫煙の4領域に要指導等と判定された者を対象に医療機関で事後指導（3回）を実施する。尚この事業を実施する市町村は地区医師会との連携会議を設置する。実施予定市町村数は、H12年度 16である。（約8億9千万円を都は計上している）

(4) 今冬におけるインフルエンザの臨床経過中において脳炎・脳症を発症した患者の発生動向調査について

本年1月1日より3月31日までの期間について発熱及び何らかの意識障害を伴うものについて報告するよう調査に協力してもらいたい。

(5) 食品衛生法施行規則の一部改正について

食中毒患者届出票として様式が改正された。（4月1日より）

(6) 老人保健施設設置状況について

78施設。

- (7) 円滑な要介護認定の実施に向けた協力依頼について
主治医意見書はなるべく期限内に作成するように協力依頼が来ている。
- (8) 「介護給付費の請求及び受領に関する届」の提出依頼について
3月31日までに介護報酬の振込口座を国保連合会へ届け出るように。
(診療報酬等振込口座と同一でも良いとのこと)
- (9) 訪問看護ステーション設置状況について
330ヶ所。(1ヶ所廃棄す)
- (10) 在宅医療医師等研修会について
介護保険を主体として、2月27日(日) 13:00~17:00 日本医師会館にて。
- (11) 介護保険「みなし指定」について
各医療機関の中で訪問看護又は訪問リハビリテーションを行わない場合には、指定を不用とする旨の申出書を3月31日までに提出する。
- (12) 地区医師会介護保険担当者連絡会について
3月11日(土) 13:00~16:00、東京都医師会にて。
- (13) 東京都医療費助成制度に係る請求事務手数料等の取扱いについて
本年度より毎年20%づつ減額し、16年度は0となる。
(**老****福****乳****親****都**等について)
- (14) 東京都医療費助成制度の社保レセプト併用化に伴う請求方法の変更について
3月診療分より、社保レセプト併用化に伴う請求方法が変更になる。医療費助成制度の種類は特殊疾病、小児慢性疾患、小児精神病、被爆者二世、大気汚染の5つである。
- (15) 「医療分野におけるコンピュータ西暦2000年問題」の要注意日の対応について
2月29日と4月1日の要注意日に障害発生した場合には、東京都保健医療情報センター
(FAX 03-5285-8080)へFAXすること。
- (16) 中医協の動きについて
現在協議中であり、尚流動的であるのではっきりしたことは言えないが、200床以上の病院の外来管理加算がなくなる、小児科が多少アップする、外科の日常の手術料が多少アップするようだ。3月25日に中医協の最終答申案が出る予定。

2. 協議事項

なし。

3. 地区医師会からの報告

新宿区医師会より一新宿区における包括的地域ケアシステム『ゆーねっと』のデモンストラーションがあった。

4. その他

(1) 介護保険ニュースについて

1999.12.28 Vol. 8の中より、級地区分の設定について

(修正案 乙地 3/100 福生市、青梅市、羽村市、
丙地 1/100 あきる野市、その他の町村)

2000. 1. 3 Vol. 9の中より、要介護認定の実施状況が記されている。

2000. 2. 9 Vol.10の中より、介護報酬についての特集号。

(II) 各部報告

介護保険認定審査会実態調査集計報告(別掲)

(学術部) 生涯教育制度と学会認定(専門)医制度との単位互換について

(III) 各地区会よりの報告

(各地区長)

(青梅) 2月14日、役員会開催。

3月10日に総会の予定。

(福生) 3月10日、総会の予定。

(羽村) 3月7日、総会の予定。

(あきる野) 2月21日、例会。役員を選出を行った。

(瑞穂) 特になし。

(日の出) 特になし。

(IV) その他

【2】 報告承認事項

(I) 入会会員について

— 承認 —

(II) 平成12年度福生市立保育園嘱託医の推薦について

福生市すみれ保育園 道又正達先生

福生市つくし保育園 桂川敬太先生

【3】 協議事項

(I) 平成12年度事業計画案の承認について

— 承認 —

(II) 平成12年度収支予算案について

— 承認 —

(Ⅲ) その他

平成12年度からの会費納入について

別紙全会員にご案内通知し、本方法にて行う（口座振替依頼書の提出をもって承諾）

地元紙コラム掲載について（広報部）

西多摩医師会ドクターによる健康管理ハウツーは、好評につき各地区の持ち回りで継続したい。各地区会で確認願いたい。

介護保険認定審査会 実態調査集計報告

（平成11年11月30日現在報告分集計）〔日本医師会〕

1. 基礎データと申請者数等

(1) 保険者数	803	保険者	※	415地域医師会より報告（回収率44.5%）
(2) 対象高齢者数	8,658,204	名		
(3) 合議体数	2,844	合議体		
(4) 1保険者あたり対象高齢者数	10,789	名	(2)/(1)	
(5) 1保険者あたり合議体数	3.54	合議体	(3)/(1)	
(6) 1合議体あたり対象高齢者数	3,044	名	(2)/(3)	
(7) 申請者数	416,039	名		
(8) 申請率	4.81%		(7)/(2)	
(9) 取扱件数	199,753	件		
(10) 処理率	48.01%		(9)/(7)	
(11) 高齢者千人当たりの取扱件数	11.92	件		

※ 要介護認定を広域で行っている場合は「1保険者」としている。

2. 一次判定結果

	自立	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計	
人数	14,976	23,588	49,688	29,370	28,690	29,159	24,282	199,753	※1
構成比①	7.50%	11.81%	24.87%	14.70%	14.36%	14.60%	12.16%	100.00%	※2
構成比②		12.77%	26.89%	15.89%	15.53%	15.78%	13.14%	100.00%	

※1 「認定調査やり直し」「取り下げ」等の理由により、取扱件数と合計数が合わないことがある。

※2 構成比①は「自立」を含めた構成比、構成比②は「自立」を除いた構成比。

3. 再入力判定結果

	件数	変更率
(1) 総数	199,753 件	
(2) 再入力による変更	3,293 件	1.65%
①上昇	2,790 件	1.40%
②下降	503 件	0.25%

(3)再入力判定結果表

		再入力後判定							合計
		自立	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	
一次判定	自立	14,529	272	175	10	0	0	0	14,986
	要支援	42	22,960	525	49	4	0	0	23,580
	要介護1	15	162	48,990	526	56	2	2	49,753
	要介護2	2	5	76	28,866	333	30	1	29,313
	要介護3	0	0	2	57	28,221	385	53	28,718
	要介護4	0	0	0	3	83	28,687	367	29,140
	要介護5	8	0	0	0	5	51	24,199	24,263
合計		14,596	23,399	49,768	29,511	28,702	29,155	24,622	199,753
構成比		7.31%	11.71%	24.91%	14.77%	14.37%	14.60%	12.33%	100.00%

4. 二次判定結果

参考：厚生省公表データ(11.12.31現在)

	件数	変更率	件数	変更率
(1) 総数	181,803 件		295,808 件	
(2) 二次判定での変更	25,712 件	19.15%	58,305 件	19.71%
①上昇	26,691 件	14.68%	45,288 件	15.31%
②下降	8,122 件	4.47%	13,017 件	4.40%

(3) 二次判定結果表

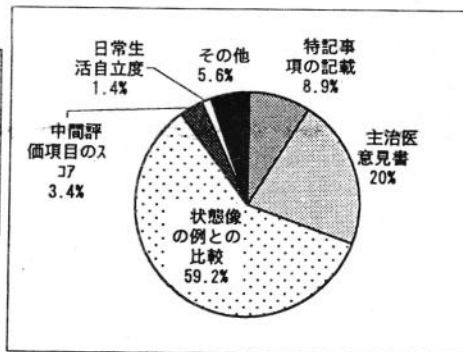
	二次判定	二次判定							合計
		自立	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	
再入力後判定	自立	12,204	2,239	82	2	0	0	0	14,527
	要支援	418	18,234	4,484	99	12	0	1	23,248
	要介護1	31	2,288	25,835	4,854	287	6	2	33,303
	要介護2	7	103	1,693	23,245	3,895	157	30	29,130
	要介護3	2	1	28	956	21,175	5,740	649	28,551
	要介護4	5	0	1	40	1,025	23,640	4,152	28,863
要介護5	4	0	0	9	136	1,375	22,657	24,181	
合計		12,671	22,865	32,123	29,205	26,530	30,918	27,491	181,803
構成比①		6.97%	12.58%	17.67%	16.06%	14.59%	17.01%	15.12%	100.00%
構成比②			13.52%	18.99%	17.27%	15.69%	18.28%	16.25%	100.00%

※ 再調査17,950 件を除いた審査判定合計数

(4) 変更理由内訳 (複数回答)

特記事項の記載	3,171 件
主治医意見書の記載	7,692 件
状態像の例との比較	21,122 件
中間評価項目の追加	1,214 件
日常生活自立度	485 件
その他	2,015 件
総数	35,699 件

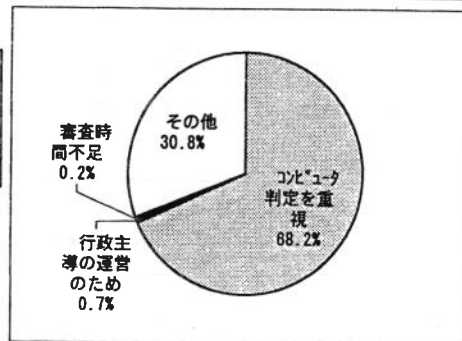
※ 円グラフの比率は総数に占める割合



(5) 変更不可理由内 (複数回答)

コンピュータ判定を重視	735 件
行政主導の運営のため	8 件
審査時間不足	2 件
その他	332 件
総数	1077 件

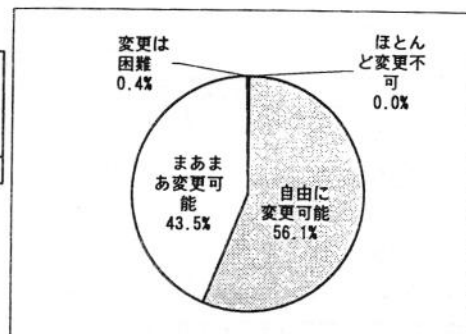
※ 円グラフの比率は総数に占める割合



(6) 変更の自由度 (複数回答)

自由に変更可能	143 件
まあまあ変更可能	111 件
変更は困難	1 件
ほとんど変更不可	0 件
総数	255 件

※ 円グラフの比率は総数に占める割合



西多摩地区医療懇話会報告

恒例の西多摩地区医療懇話会が、平成12年2月12日(土)、午後1時30分より福生の幸楽園にて開催されました。

今回は市町村が当番幹事となり、西多摩8市町村の首長および西多摩医師会の役員が出席しました。

竹内青梅市長、宮川会長の挨拶につづいて懇談に移りました。とりわけ、介護保険の制度の円滑なスタートに向けての現況と課題を中心に、行政と医師会相互の密接な連携を踏まえた熱心な意見の交換がなされました。(広報部)

会員通知

- 会報
- 平成12年度診療報酬請求書提出日一覧表
- 東京都医療費助成実施要綱等の一部改正（難病医療費公費負担制度の改正、医療機関からの医療費等の請求方法）について
- 東京都医療費助成制度の社保レセプト併用化に伴う請求方法の変更について
- 「生活保護法による医療扶助運営要領について」等の一部改正に伴う医療券様式の変更について
- 今冬におけるインフルエンザの臨床経過中において脳炎・脳症を発症した患者の発生動向調査への協力依頼について
- 「診療情報の提供に関する指針」の実施に向けて
- 訃報
- 告示
- 世田谷区医師会主催産業医研修会案内

医師会の動き

医療機関数	195	病院	29	会議	
		医院・診療所	166	2月8日	理事会
会員数	408	A会員	187	12日	医療懇
		B会員	221	16日	経理部会
				22日	理事会
				23日	会報委員会

各部だより



学術部

Information



学術講演会のご案内

第1回 パネルディスカッション『虚血性心疾患』

前回まで4回シリーズで実施して参りましたパネルディスカッション「糖尿病」は、取り敢えず終了させていただき、今回は急性心筋梗塞を中心とした「虚血性心疾患」をテーマに取り上げました。

ご承知の通り本年6月に青梅市立総合病院に待望の救命救急センターが新規オープンし、西多摩地区の三次救急は飛躍的に充実するものと期待されます。また平成13年4月には国保連合会福生病院も、福生、羽村、瑞穂、二市一町の公立病院として新たにスタートする予定であり、公立阿伎留病院も含めて二次救急の充実が待たれるところであります。これを機会に、ともすれば立ち遅れがちな西多摩地区の循環器救急医療に関し、病病、病診連携を含めた問題点を検討することは有意義なことと考え、企画した次第です。

特別講演には、虚血性心疾患治療の第一人者でいらっしゃる東邦大学付属大橋病院第三内科教授の山口徹先生をお招きし、「高齢者急性心筋梗塞の再灌流療法」に関してご講演をいただきます。又、パネリストの先生方には青梅総合病院より坂本先生、原先生、阿伎留病院より江本先生、開業医代表として田中先生にお願い致しました。

今回のディスカッションが実り多きことを願いつつ、多数の先生方のご参加をお願い申し上げます。

学術部長 横田 卓史

テーマ 『虚血性心疾患』～急性心筋梗塞を中心に

日時：平成12年3月18日(土) 午後2時～5時

会場：青梅市立総合病院南棟3階講堂（駐車場あり）

（JR青梅線 河辺駅徒歩3分）

青梅市東青梅4-16-5 TEL 0428-22-3191

〈プログラム〉

司会：西多摩医師会学術部長 横田 卓史 先生

1 特別講演：「高齢者急性心筋梗塞の再灌流療法」

講師：東邦大学大橋病院第三内科教授 山口 徹 先生

2 パネルディスカッション

- (1) 「急性心筋梗塞を発症した糖尿病患者の特徴」
 …… 青梅市立総合病院 内分泌代謝科 部長 原 義 人 先生
- (2) 「胸痛にて来院した患者さんを診て」～心筋梗塞のプライマリーケア
 …………… 青梅市 田中医院 田 中 穂 積 先生
- (3) 「当地域におけるAMI患者収容の現状と課題」～地域医療の立場から～
 …………… 青梅市立総合病院 循環器科 部長 坂 本 保 己 先生
- (4) 「当院におけるAMIに対する治療戦略」
 ～単独再灌流療法からコンビネーション療法へ～
 …………… 公立阿伎留病院 循環器科 科長 江 本 浩 先生

共催：西多摩医師会学術部
 エーザイ株式会社

〈学術講演会聴講メモ〉

平成12年1月21日(金)

演題：慢性関節リウマチ 膠原病の診断と治療

講師：埼玉医科大学教授 竹 内 勤 先生

埼玉医科大学第2内科の膠原病中、慢性関節リウマチが52%、SLEが28%と、慢性関節リウマチ患者が多い。

慢性関節リウマチの経過として、一過性の増悪だけの単周期型、増悪、寛解を繰り返し10数年にして、関節破壊が見られる多周期型が見られる。

慢性関節リウマチの診断として、1981年より下期の7項目のうち4項目をみたしていれば、RAと診断される。

1. 1時間以上の朝のこわばり（6週以上）
2. 3つ以上の関節領域の腫脹（6週以上）
3. PIPまたはMCPまたは手関節の腫脹（6週以上）
4. 対称性関節腫脹（6週以上）
5. 皮下結節
6. リウマチ因子の存在
7. 手の定型的X線変化

また、肉眼的に軟らかく、水けを持った腫脹が特徴である。

鑑別診断として、1. SLE 2. 強皮症 3. 多発性筋炎、皮膚筋炎 4. 血管炎症候群 5. 混合性組織病変 6. シューグレン症候群がある。

治療としては、基礎療法教育、安静、運動、NSAIDsの他、抗リウマチ薬、ステロイド、試験的治療薬治療がある。

抗リウマチ薬として、メソトレキセート、オーラノフィン、金、チオリンゴ酸等が使用される。その使い方としては、①漸増法、②NSAIDsまたはステロイド剤との併用、③血液、検尿になる副作用の定期的チェック、④2～3ヶ月目に効果確認、⑤効果があったとき、併用薬の減量及び中止、⑥無効になった時の他剤への変更、をこころがける。効果は早いもので、メソトレキセートで2週間、遅いものでは金剤、オーラノフィンで3ヶ月の経過をみる。継続性ではメソトレキセートが一番良いが、RA治療の現状では寛解32%、重症化39%である。ここでNSAIDsと抗リウマチ薬を比較すると、NSAIDsはCRPを下げないが抗リウマチ薬はCRPを下げる。今後の慢性関節リウマチの治療薬として、米国では使用許可薬であるレフロノマイド、エンブレルといった抗サイトカイン薬を埼玉医大でも試みた。やはり米国と同様に重症例にも著効が見られ、将来の慢性関節リウマチの治療の主流となると思われる。

(渡辺)

地区だより

羽村地区

ワインの会

1月26日、市内で新年会を兼ねたワインの会が開かれました。

ドイツワインが7種8本も並び、カビネット、シュペートレーゼ、アウスレーゼと格があがって行くにつれて、酔いも舌の回りも滑らかになり、お店自慢のワインなら9本はたっぷり入るといふ、巨大なクリスタル製ワイングラスでの一気飲みも始まる盛り上がり様、最後には、飛入りの女性客も含めて、カラオケで楽しい一夜を締め括りました。



新人紹介

檜原村国民健康保険 檜原診療所

あいざわたかお
藍沢隆雄 会員

昭和40年生まれ。徳島県出身です。平成2年に自治医科大学を卒業し、都立病院で研修をしながら、主に伊豆七島（新島、利島、青ヶ島、御蔵島）でへき地医療に携わってきました。

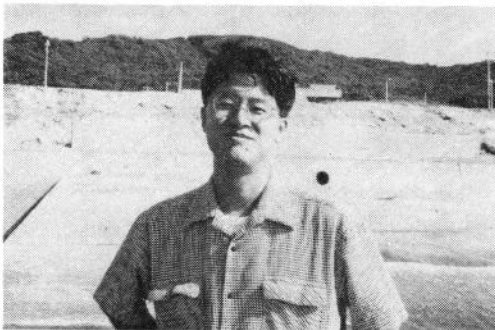
家族は妻と娘（3才）、息子（0才）の4人です。趣味はサッカーで、週末は社会人チームで活動しています。また檜原村に来てから川釣りを教えていただき、診療後に秋川でヤマメ釣りをしています。

檜原診療所は平成11年4月に、デイサービスセンター、福祉作業所、児童館を併せた「やすらぎの里」として新オープンしました。わたくしも、33年間勤務された内田医師の後

任として、4月より診療させていただいております。

これまでのへき地での経験を生かし、「総合医」としてどのような疾患にも対応できるよう日々勉強していきたいと思っております。

今後は医師会の催しにも積極的に参加させていただきますので、どうぞ宜しくお願いします。



文芸随筆諸事百般

立 春
鹿野 純一

立川の牧水の歌碑騒音の

工事現場の木の下に立つ

視力落ち新眼鏡で再更新

日暮れは早く皆だんまり

駅ビルの喫茶店で一休み

献血すゝめる声は高らか

魚屋に鮮紅色のかさごあり

とげが多くて袋のまゝに

多摩川の向うは夕暮れ日野のまち

明り散在孫達いかに

ビンゴとは何かと思ひ辞書をひく

はづれるらしい欲の無い人

立春に誕生祝いのカフスポタン

青く不思議な光を放つ



伝言板

◆救急の受け入れに努力しています◆

青梅総合病院

昨年、東京都は委託する救急医療機関を休日・全夜間診療可能な施設に集約し（約440から250へ）、一施設に夜間3床確保（全都750床）を義務づけることになりました。

当院の年間の救急患者数は約12000件（平成10年度実績）、そのうち救急隊搬送数は約2700件です。

◎当院では夜間診療に入る午後5時時点で必ず集中治療室および急患室で3床以上の空床を用意しています。

一方で、

※先生方からご依頼の予約入院、検査入院のための病床確保も必要です。

※成人が使用できない小児科病床、男子が使用できない産婦人科病床などがあります。

◎当院では在院日数を短縮し、外泊日数を節減することによって病床利用の効率を高め、空床確保に努力しています。

因みに、

※平均在院日数は17～18日台を維持しています。

※病床利用率は全体科で94～95%、内科、外科病棟では100%を超えています。

◎6月予定の救命救急センター開業により当院の二次、三次救急受入れの一層の充実が期待いただけるものと思います。

◎慢性療養期に入った患者さんのなるべく早期の転院実現のため、受入れ先の後方施設ならびに患者さんのご協力を是非ともお願いいたしたいと存じます。

お知らせ

事務局より お知らせ

平成12年4月（3月診療分）の

保険請求書類提出日

4月8日（土）

—— 正午迄です。 ——

法律相談

西多摩医師会顧問弁護士 鈴木禧八先生による法律相談を
毎月第2水曜日午後2時より実施しておりますのでお気軽に
ご相談下さい。

- ◎ 相談日 **3月は8日（水）**
4月は12日（水）の予定です。
 - ◎ 場 所 西多摩医師会館和室
 - ◎ 内 容 医療、土地、金銭貸借、親族、相続問題等民事、
刑事に関するどのようなものでも結構です。
 - ◎ 相談料 無 料（但し相談を超える場合は別途）
 - ◎ 申込方法 事前に医師会事務局迄お申込み願います。
- （注）先生の都合で相談日を変更することもあります。

訃 報

横内 敬介 様

羽村市栄町2-6-29
いづみクリニック
横内正利 院長（ご尊父様）

去る2月7日逝去されました。
謹んでお悔み申し上げます。

表紙のことば

『春：コゲラ』

水元公園にて、コゲラ（きつつきの一種）
が、枯れかけた桜の木に巣を作っていました。
三週間後、巣の入り口から飛び立つコゲラを
見つけました。巣の中には相手方のオスカメ
スが卵を暖めている様です。

桜とのコントラストが良く、気に入ってい
る一枚です。

田村啓彦

あ と が き

Y 2 K の大合唱で明けた千年紀も気がつけば弥生。梅の花が綻び、地虫が這出る啓蟄をむかえました。

ところで、ストレスを評価するモデルとしてデマンド・コントロール・サポートモデルがあります。これは、仕事のストレスを仕事の要求度 (Demand) と裁量の自由度 (control) で示すもので、仕事の要求度が高く、裁量の自由度が低いと高緊張状態 (High strain) をもたらし、心理的・生理的ストレス反応がもっとも高くなるとされます。

はたして医師はどうでしょう。

ストレスを感じたときなど、梅の香がただよう吉野梅郷を散策するのもよいかも知れません。

神尾重則

社団法人 西多摩医師会

平成12年3月1日発行

会長 宮川栄次 〒198-0044 東京都青梅市西分3-103 TEL 0428(23)2171・FAX 0428(24)1615

会報編集委員会 神尾重則

石井好明 片平潤一 清水佐和道 高水松夫

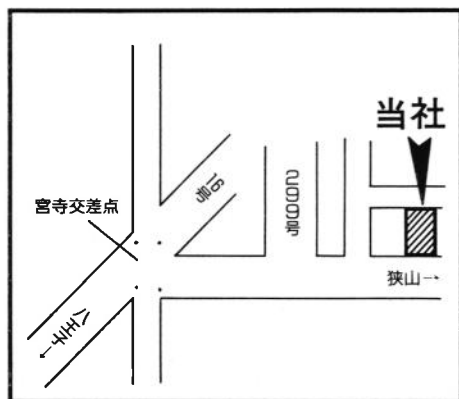
田村啓彦 樋口昭夫 横田卓史

印刷所 マスダ印刷 TEL 0428(22)3047・FAX 0428(22)9993

健康と未来をみつめて!!

医療機関における各種検査、学校、事業所の検診

御利用の際は御連絡下さい



埼玉県登録衛生検査所

武蔵臨床検査所

所長 杉田 富徳

埼玉県入間市上藤沢309-8

TEL 0429 (64) 2621

FAX 0429 (64) 6659

R RETAIL BANK
あさひ銀行

あなたの街の
あさひです。



あさひ銀行

東青梅支店	TEL.0428-22-2121(代)	〒198-0042	青梅市東青梅2-17-4
奥多摩 特別出張所	TEL.0428-83-2515(代)	〒198-0212	西多摩郡奥多摩町氷川1421
青梅支店	TEL.0428-22-1101(代)	〒198-0045	青梅市青梅295
河辺支店	TEL.0428-24-2401(代)	〒198-0036	青梅市河辺町10-2-9
福生支店	TEL.042-551-1021(代)	〒197-0011	福生市福生1048
村山支店	TEL.042-561-1211(代)	〒208-0001	武蔵村山市中藤4234
秋川支店	TEL.042-558-2611(代)	〒197-0831	あきる野市下代継111-5
羽村支店	TEL.042-579-0881(代)	〒205-0011	羽村市五ノ神4-13-10
五日市支店	TEL.042-596-1311(代)	〒190-0164	あきる野市五日市840-1

最新のテクノロジーが計測します
そして、人の眼と心が記録します



臨床検査のパイオニア
保健科学研究所

本社 〒240 横浜保土ヶ谷区神戸町106 TEL/045-333-1661(大代表)
仙台支社 〒983 仙台市宮城野区扇町1-3-5 TEL/022-236-9345(大代表)